

7月28日

2022年
(令和4年)
木曜日
第20100号(日刊)
土・日曜・祝日休刊

鉄鋼新聞

Japan Metal Daily

発行所 鉄鋼
社 東京千代田区神
本 5250 5203 F
編集部 03(5250) 5203 F
業務部 03(5250) 5202 F
大阪支社 06(6445) 6535 F
名古屋支社 052(735) 6555 F
http://www.japanmet
Eメール:info@japanmet



三興製鋼は本
社工場、向山工
場は久喜工場
(埼玉県久喜市)
の各1工場体
で置き、当初は2人体
制。而社どもD
10、16の細物を
中心に鉄筋棒鋼
を年25万ト前後
を生産している。

三興製鋼と向山工場 10月から、電極・合金鉄など対象 主要素材の購買共同化

共販会社ウインターストに「購買部」

細物小棒メーカーの三興製鋼(本社・神奈川県登坂市、社長・鈴木史郎氏)と向山工場(本社・埼玉県川口市、社長・向山豊氏)は、今年10月から主要素材の共同購買事業を開始すると発表した。電極や合金鉄、炭材、生石灰、耐火物などの副原料・素材を対象とし、主原料である鉄スラッグは対象外。而社製品を共同販売するウインタースト(本社・東京都千代田区、社長・向山敦氏)に10月1日付で「購買部」を新設し、而社合算で年間約30億円にのぼる素材購入を共同化する。世界的な素材高騰やサプライチェーン混乱など調達環境が変化する中、両社が共同購買を行うことで安定調達と業務効率化、製品の品質維持・向上につなげる。

10月1日付でウインターストは、ただ仕入れ契約は従来通り三興製鋼と向山工場で締結する。ウインターストの1人の担当者を非常勤で置き、当初は2人体制。而社どもD制で業務を開始する。業について「従来の10、16の細物を購買部は主要素材の購入に関する交渉や情報直接仕入れを行い、ウインターストは商流を一元的に手掛

社工場では「敵」環境を打開すべく両社の工場を打ち開き、順調に運営できている。激激な環境変化で電力や各種原材料の原単位低減による徹底的な削減に取組んでいる。両工場の設立目的は購買事業の共同化も含まれており、事業開始10年4カ月後の実現となる。鈴木三興製鋼社長は「共販事業は想定以上に断じた上背景を説明。二層の収益力強化を図りたい」と述べた。

両社を支援していただいた取引先との関係を大切に、慎重に進めていくと語った。また今回の共同購買を通じて、両社で操業技術に関する情報交換や人材育成を進め、将来的には両